

神戸市立藤原台小学校で海の出前授業を実施

ふだん、海に接する機会の少ない子どもたちに、海や船のことを身近に感じてもらおうと、平成31年1月24日、神戸市立藤原台小学校において、帆船「みらいへ」の現役女性船長と帆船「日本丸」の元船長の2人による海の出前授業を実施しました。

- 日時 平成31年1月24日(木)9時45分～11時35分
- 場所 神戸市立藤原台小学校 体育館(神戸市北区藤原台南町1丁目13-1)
- 対象 3～4年生234名+教員6名
- 内容 海、船、船員
- 講師 ・帆船「みらいへ」船長 大谷 彩恵 氏
・神戸運輸監理部 海事振興部長 鶴山 久 (帆船「日本丸」元船長)



大谷船長(左)と鶴山元船長(右)



出前授業のようす(講師は大谷船長)

【概要】

前半40分は、鶴山元船長が授業を担当。自身のことを交えながら、日本が海洋立国であること、国内外の輸送には船が重要な役割を担っていることなどを、動画を用いながら子供たちに説明しました。アニメ・ワンピースでよく知られる「海賊」が今でもいることを話すと、子供たちから多くの質問がありました。

後半40分は、大谷船長が授業を担当。高校生の時に幼少期の帆船体験の思い出がきっかけで船員を目指したこと、航海中にサメやイルカと出会ったことなど、気を引く絶妙なトークで子供たちは興味津々で話を聞いていました。また、体育館全体を使った体を動かすゲームにより、チームワークと声掛けの大切さを体験しました。

藤原台小学校は、神戸市北区の山間部にあり、子供たちのほとんどは海と接点のない生活をしています。今回の海の出前授業では初めて見聞きしたことが多かったようで、興味と理解を深めたようです。これをきっかけに、海や船が楽しく身近な存在になってくれればと思います。